

## 04 住 容

沖浦に暮らす佐々木さんは1ターンで島にやってきた。

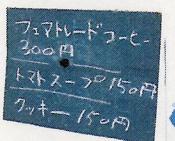
佐々木さんは押し付けや無理なんて言葉とは無縁の毎日を送る。

彼女がつむぐ暮らしの物語は、島を囲む海のようにしなやかで、やわらかい。

### ○カッコいいポイント

#### 受け入れるけど流されない

島での暮らしは初めての連続。だけど佐々木さんの毎日は無理や押し付けなんて言葉とは無縁。島の暮らしを受け入れる、だけど流されない。しなやかな心と無邪気な笑顔が魅力的。



### ○カッコいいポイント

#### 芯があるのに自由な心

農園で無農薬のみかんやレモン栽培に挑戦したり、仲間づくりの場であるオキウラマルシェに一役かったり、故郷福島と島をつないだり。しっかりと芯があるのに自由な心がカッコいい。



時間の感覚が  
変わりますヨ

### ○カッコいいポイント

#### 島の環境と食事

佐々木さんのお気に入りの時間は、窓辺のロッキングチェアで「ぼーっと」と景色を眺めること。「環境もそうですが、食事に関しても安心できるので、体質が変わったように思います」。



ボレボレ農園 ボレボレデザイン  
佐々木ひろこさん

SASAKI HIROKO

#### DATA

- ・年齢…20代
- ・性別…♀
- ・出没ポイント…沖浦エリア
- ・最近思うこと…何もない時間の豊かさ



### おおらかでしなやかな島暮らしの物語

佐々木さんは福島出身だ。東北芸工大学を卒業後、山形でラタン工芸の職に携わり、東日本大震災がきっかけで福島に戻る。福島で実家のパン屋さんを手伝ううち、原発事故の実態が明らかになる中で移住を考えていたところ、お店などを手伝うことで宿と食事の提供を受けるウーフというシステムに出会い、島にやって来たのだ。山形、福島、そして大崎上島。短期間でかくも大きな決断の連続。その地の生活に合わせようと無理したり、自

分を突き通すあまり押し付けがましくなりそうなものだが、佐々木さんは実にしなやかに環境を、時間を、島に暮らす自分を受け入れている。現在佐々木さんは、オキウラマルシェで福島のおばちゃん手づくりのクラフトかばんを販売するかたわら、島での暮らしなどをブログ「しましま」で発信している。無農薬のみかんとレモンを栽培する農園の木には「本当に名前をつけてかわいがっています」と佐々木さん。無邪気な笑い声が広い空に響いた。

#### ワークショップ参加者のコメント

- ・「こうじゃないといけない!」という感じや気負っている感じがない。新しいタイプの生き方を見せていただいている気分でした。5年後にまたお会いしてみたい方です。
- ・型がないけど芯がある、そんなイメージのステキな人でした。
- ・いつもにこにこ笑っていて、楽しむのが上手な方だなあ、と思いました。



休日は島でのんびり過ごす人が多い。

05) **B**

某全国紙の主催するコンテストで最優秀賞を受賞した農園を、  
持ち前の行動力でつくり上げた中原さん。  
一生懸命に生きる人だけに“間”が訪れる信じて今日も動く、動く！

一生懸命  
生きていれば  
間は訪れる！

### ○ カッコいいポイント

| ターン移住者の自立支援にも積極的に取り組んでいる中原さん。「移住してきた人たちの発想力と行動力には学ぶことが多いですね。支援しながら、良い影響をもらっています!」

### ○ カッコいいポイント

「これから農業に必要なのは、差別化ではなく独自化」と中原さん。現在はばかし肥料を活用した有機農業も行っている。圃場を見せていただきと、土の元気さがわかる



## 農園の土は ホンとやわらかい

### ○ カッコいいポイント バリアフリー農園

とある会で「ユニバーサルデザイン」という言葉とその意味を知ったのがきっかけ。「即、行動」の精神で実現させ、車いすの方でも入園できるバリアフリー農園を経営している。



中原觀光農園 園主  
**中原伸悟さん**  
NAKAHARA SHINGO

**DATA** 

- ・年齢…60代・性別…♂
  - ・出没ポイント…東野・木江エリア
  - ・これから農業に必要なこと…差別化ではなく独自化
  - ・移住者のココがいい…発想力と行動力。島民もマネできならしいな。



人と人、今と未来を描いてつなぐお父さん

中原さんとユニバーサルデザインの出会いは、漁業と農業(フルーツ)が協働するFF会のことだった。中原さんは「いいな」と思ったらすぐに実行に移す、行動力のある人。「子どもからお年寄りまで、車いすの方も、みんなが園内を散策できたらいいなあ」と思い立ち、結果、バリアフリー農園までつくり上げたのだ。某全国紙に掲載された農園も、中原さんの「即、実行」の精神の賜物だ。「一生懸命生

きている人にはね、いい間っていうタイミングが絶対に訪れると信じているんですよ。だから実現のために一生懸命動けば、タイミングよくコトが運び、思いも寄らない素敵な展開になったり、ね」と力強く話す。「新しい出会いが生まれ、いいものが続いていけたら」と、ターン移住者の自立支援にも積極的な中原さん。人と人、今と未来をつなぐ姿に「島のお父さん」が見えた。

## ワークショップ参加者のコメント◆

- ・あくなきチャレンジ精神や向上心を感じました。
  - ・「人生には間(タイミング)がある」という言葉がカッコいいと思いました。
  - ・人と人　人と場所　今と未来　いろんなものをつなぐ方だと感じました。

大崎かみじま

民話や伝説、昔話が多い。

06

# 育む

教育に情熱を注ぎ、厳しくもあたたかい指導を心掛ける塾講師・取釜さんは、島を出てから戻ってきたUターン組だ。子どもの未来を育むという職業柄、20年、30年後を見つめ、島への愛を育む。

## ○ カッコいいポイント

### スーパー塾講師

「靴をそろえなさい」「あいさつをしなさい」など子どもたちに厳しい“スーパー塾講師”的取釜さん。子どもたちの未来を見つめるがゆえの、細かくもあたたかい指導だ。



## ○ カッコいいポイント

### 未来を真剣に見つめる

行政と連携して、移住体験や定住支援を行う取釜さん。子どもたちの夢を育む職業柄か、移住者と島の人たちをつなぐことで、島の未来を育むことにも情熱を注いでいる。



教育と  
郷土愛に  
燃えています

## ○ カッコいいポイント

### スーパー郷土愛

郷土愛の観点から、子どもの未来と島の未来をまっすぐ見つめている。島のイイところは、「たとえば景色の美しさ。毎朝のランニング時に見る朝日がイイんですよ。」

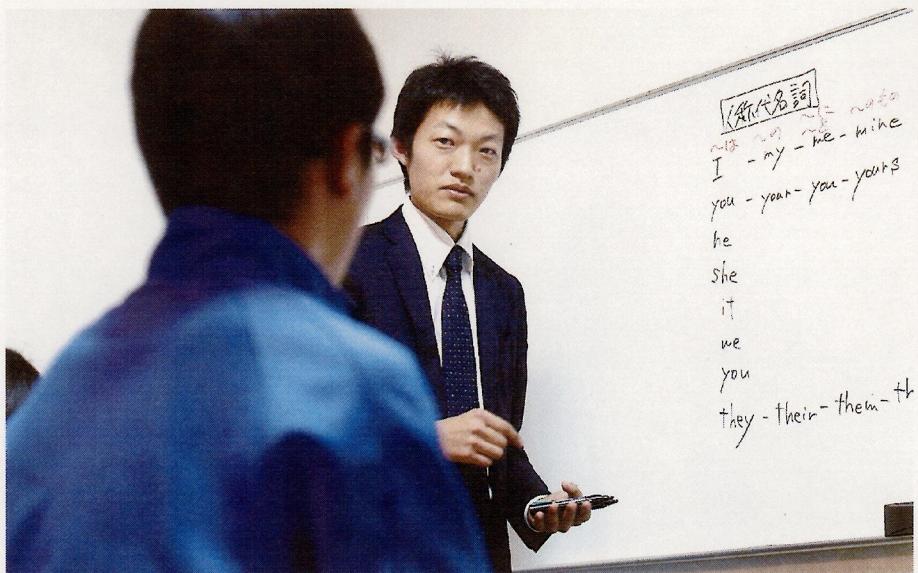


高志塾 大崎上島 塾長  
**取釜 宏行さん**

TORIKAMA HIROYUKI

#### DATA

- ・年齢…20代 ② 性別…♂
- ・出没ポイント…沖浦エリア
- ・島民ってどんな人?… GIVE and TAKE の精神がある



## 子どもたちの未来と島の未来を育む

心の中で、思わず「スーパー！」「トリカマン！」と叫んでしまった。こんなにスゴい人が島にいるなんて思わなかったから。取釜さんのひと言一言に深く頷けたから。取釜さんは子どもたちの教育にひときわ熱心な塾講師。一度、島を出て2年前に戻ってきた。厳しいけれど正しい道へ導いてくれる言葉、物事を深く考えてまっすぐに答える姿勢から、たくさんの子どもたちの信頼と尊敬を集めている。教育とは、子どもたちひとり一人の未来を育む仕事。

それは島に対する思いにも通じていた。「自分がUターンをしてみて、移住の大変さを実感したのをきっかけに、行政と連携して定住支援や移住体験などの活動を始めました。移住者と島民をつなぐことで、島の未来を育めたら」と取釜さん。塾講師という職業柄かもしれないけれど、取釜さんの教育と郷土愛に注ぐ情熱こそ、たくさんの生徒たちに慕われるゆえんかもしれない。

## ワークショップ参加者のコメント

- ・将来とか未来、熱血、熱心、まじめでおもしろいことが好き、郷土愛、特に島への愛とチャレンジ精神を感じました。
- ・良い意味で島の人っぽい感じがしない方です。
- ・島のスゴい人を語っていましたが、取釜さん自身もパワフルでスゴい方!



年に数回、山本浩二を自撃できる(運が良ければ)。